

## 就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ウィズ・チョープロ	事業所番号	4210104412
住所	長崎市赤迫3丁目2番20号 SOLビル3階	管理者名	西岡 哲男
電話番号	095-801-2600	対象年度	令和 5 年度

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

※今回の研修は、(株)チョープロ人事部の協力を得て研修内容を協議・共有し、当事業所の職員が講師として実施。

## &lt;活動内容&gt;

## 【コミュニケーション編】

(レッスン1)「伝わりやすい話し方を学ぼう！」

- 活動場所：ウィズ・チョープロ相談室
- 実施日程：2024/3/27(木)14：45～15：45
- 実施概要
  - ・伝わりやすい話し方のポイントを知る。
  - ・5W1H（2H）について理解する。
  - ・伝わりやすい話し方の実践練習をする。
  - ・ワークシートで確認する。・まとめをする。
- 参加者数：A型利用者3名

## &lt;目的・メリット&gt;

- 目的 一般就労を目指す利用者に対して、コミュニケーションスキルの向上を図る。
- メリット 意思伝達の際の不安を和らげる一助となる。

## &lt;成果&gt;

- 課題意識をもって研修に臨んでいた。話し方には、伝わりやすい話し方のポイントがあることに気づいた。
- 実際場面での活用が課題であり、意図的にそのような場面を設けていくことが必要だろう。
- 今後は、ロールプレイなども取り入れたい。

## &lt;活動の様子&gt;

## レッスン1 伝わりやすい話し方を学ぼう

- 話し合ってみましょう。  
伝わらないのは どうして？
- 伝わりにくい話し方になっていませんか？
- 「伝わりやすいポイントを知ろう！」  
①何が言いたい？ ②簡単な言葉で  
③はつきり、短く ④マナーを守って
- フリップ（PREP）法  
結論・主張⇒理由⇒具体例⇒結論・主張
- 5W1H（2H）を織り込む。  
いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、  
どのように、どれぐらい（～した）
- やってみよう！
- 今日のまとめ

プリント資料を使った机上研修と学んだことを実際に使ってみる実践練習によって研修を深めた。



## (実践練習)

指導員に、有給休暇の相談をしている様子。  
目上の人へのマナーも意識し、何とかうまく話せた。実際場面での応用が課題。



## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

- 障がい者の離職の原因の一つに人間関係の問題があると聞く。今回研修を受けた3名の利用者も、コミュニケーションがうまくとれず人間関係がこじれたり、対人的な緊張が高まったりして、直接的間接的に離職につながった方々であるとのこと。今回の研修内容は、コミュニケーションをとることへの苦手意識をやわらげる意味でも、評価できる取組だった。
- コミュニケーションスキルについては、実践で身に付けていくことが必要であり、引き続き、研修内容の検討や実践練習などで連携を図っていきたい。

連携先企業（担当者）

株式会社チョープロ 人事部長 荒木ゆい

## 利用者からの意見・評価

(利用者からの意見・感想)

- 自分はずっと、話がわからないとよく言われる。今日の研修を受けて、一番伝えたいことが伝えられていないことが分かった。話す内容を考えてから話すようにしたい。●緊張で、話が混乱してしまうことがよくあった。肝心の言葉が抜けてしまうこともあり、話の筋道を考えて話すようにしたい。●自分も、考えてから話すようにしたい。

(今後に向けての意見)

- 今回の研修は、初めての試みだったが、引き続き、このような研修を続けてほしいとのことだった。